

12月定例議会特集号

- 町道認定
JR蟹江駅橋上駅舎化事業 進行中……2
- ここが知りたい!
一般質問……4
- 総務民生・防災建設
常任委員会の審査……11
- 30年度
議会報告会を開催しました……12

表紙のはなし

日光川水閘門（飛鳥村大字梅之郷地先）

全国最大の海拔ゼロメートル地帯を支える防災の要

愛知県は、伊勢湾台風規模の高潮や、南海トラフ地震規模の津波に備え、日光川水閘門の改築工事を進めてきました。

日光川水閘門は、昭和37年の運用開始から年月が経過し、本体の老朽化が著しく、平成21年度から改築工事に着手しました。この度、新たな水閘門が竣工し、平成30年3月から供用開始をしています。

（町議会議員で水閘門の視察に行きました。概要はP11になります。）

蟹江町議会より12月定例議会の情報をお伝えします。

議会だより

2019.2.1
No. 167

平成31年(2019年)2月1日

発行／蟹江町議会

編集／議会広報編集委員会

〒497-8601

愛知県海部郡蟹江町学戸三丁目1番地

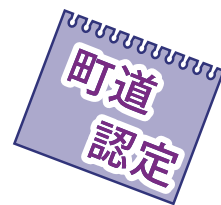
TEL(0567)95-1111 FAX(0567)95-1525



ホームページも見に来てね!

蟹江町議会

検索



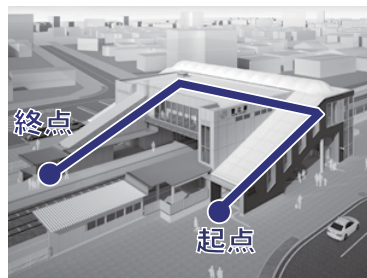
JR蟹江駅 橋上駅舎化事業 進行中

自由通路部分を町道に認定



定例会のあらまし

- 30年12月定例会は、12月4日（火）から18日（火）までの会期で開きました。
- ▼4日（開会）
条例改正案、補正予算案など、あわせて5件が提案説明されました。
- ▼6日（常任委員会）
総務民生常任委員会、防災建設常任委員会が開かれ、本会議から付託された議案2件の審査をしました。
- ▼12日・13日（一般質問）
9人が一般質問（11問）を行いました。（P4参照）
- ▼18日（閉会）
条例改正案、補正予算案など4件、意見書案2件が追加提案され、質疑・討論を行った後、全ての議案を可決し、閉会しました。



- ▼町道路線認定（全員賛成）
JR蟹江駅橋上駅舎化事業に伴い、蟹江駅南北自由通路線が新たに町道として認定されます。
- ▼起点 桜一丁目235番地先
- ▼終点 大字今字上六反田1番1地先

正 表彰条例等の一部改正
（全員賛成）
法改正に伴い、常勤特別職となった教育長が、町政功労者表彰の対象になります。

条例改正等を審議

改正 議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例・特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正
（賛成多数）
30年人事院勧告に伴い、期末手当の支給率が次のとおり変更になります。

支給月	変更前の支給率	変更後の支給率
30年12月	172.5/100	177.5/100
31年 6月	157.5/100	167.5/100
31年12月	177.5/100	167.5/100

30年人事院勧告に伴い、期末手当の支給率が次のとおり変更になります。

《反対》 板倉議員
特別職や議員の期末手当の引上げは、人事院勧告に準ずる理由はない。町長や議員の報酬は、住民の暮らしが改善された後に検討されるべきと考え、反対。

《賛成》 安藤議員・高阪議員
30年人事院勧告に準じて改正するものであり、賛成。

職員の給与に関する条例の一部改正

（全員賛成）

30年人事院勧告に伴い、期末手当、勤勉手当の支給率の変更と給料表の改定、特殊勤務手当の整理などがされます。

会 計 別		補 正 額	補正後の額	審議結果
一般会計（第3号）		9,722万2千円	114億9,754万9千円	全員賛成
一般会計（第4号）		4,011万1千円	115億3,766万円	全員賛成
特別会計	国民健康保険事業（第2号）	6,100万7千円	38億864万2千円	全員賛成
	介護保険管理（第2号）	2,300万円	29億1,808万8千円	全員賛成

補正予算案を審議

会派の構成	
新風（4人）	
高阪康彦	安藤洋一
水野智見	石原裕介
新政会（3人）	
吉田正昭	佐藤茂
奥田信宏	
公明党	
松本正美	
日本共産党	
板倉浩幸	
立憲民主党	
中村英子	
会派に属さない議員	
飯田雅広	戸谷裕治
伊藤俊一	黒川勝好

30年12月18日付けで、中村議員から立憲民主党の会派届が提出されました。※12月定例会は、無会派となります。※左図参照。変更があつた箇所に色付けしてあります。

会派とは

町政の推進に関して、同じ主義主張や政策などをもった議員が集まって活動するグループのこと。



議会の人事

▼愛知県の私学助成の拡充に関する意見書

▼国の私学助成の拡充に関する意見書

▼意見書の取扱い
町議会では、全会派一致で採択されたものだけが提出されることになっています。

意見書を提出

賛否が分かれた議案等一覧

○は賛成 ×は反対
議長は採決に加わりません

提出者	議案名	会派等	公明党	日本共産党	新 風			新政会			無会派	無会派	無会派	無会派	無会派
		審議結果	松本正美	板倉浩幸	石原裕介	水野智見	安藤洋一	高阪康彦	佐藤茂	吉田正昭	奥田信宏	飯田雅広	戸谷裕治	伊藤俊一	黒川勝好
町長	議案第53号 蟹江町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決	欠席	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
	議案第54号 蟹江町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	欠席	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○

30年第4回定例会議案等審議状況

ここが
知りたい!

一般質問

12月定例会では、9人が一般質問を行いました。
質問と答弁を要約した内容は、5ページから10ページまでです。
全文記録（会議録）は、3月下旬に町議会ホームページに掲載します。

『道の駅日光川ウォーターパーク』構想を提案・・・5
子育て最前線の現状を問う
安藤洋一（新風）

保育・教育行政を問う・・・・・・・・・・6
吉田正昭（新政会）

まちづくり地権者の思い、どう応える・・・・6
佐藤 茂（新政会）

障がい者控除対象者認定書の送付を！・・・・7
自立支援医療の自己負担額を助成せよ！
板倉浩幸（日本共産党）

災害発生時の町民の自主避難を問う・・・・8
伊藤俊一（無会派）

国の農業政策関連事業を有効活用せよ・・・・8
水野智見（新風）

人口減少時代の町づくりを問う！・・・・9
戸谷裕治（無会派）

蟹江町の教育政策・教育行政を問う・・・・9
飯田雅広（無会派）

ムダを省き、必要なところに予算配分を！・・・10
中村英子（無会派）



安藤洋一
(新風)

問 『道の駅日光川ウォーターパーク』構想を提案 答 潤いのある水郷景観の町を形成したい

問 交通利便性が高い日光川ウォーターパークを道の駅とし、町の中心的施設にできないか。また、水に親しむ公園施設の充実を求む。

次長兼土木農政課長

都市計画決定された公園であり、道の駅を設置することは難しい。
誰もが利用できる運動施設を含めた計画を模索・研究していきたい。

問 ウォーターパークを中心とした常設のウォーキングコースを設定できないか。

生涯学習課長

保健センターが実施している「キラッとかにえ健康ポイント」の取組に利用できるようなコースを検討していきたい。

問 ウォーターパークと佐屋川創郷公園を含めた『日光川ウォーターフロント』構想への発展はできないか。

政策推進室長

当町を水郷のまちとしてアピールする要素は各所にあると考えており、蟹江川や佐屋川創郷公園等でも河川の利活用を検討しつつある。

『ウォーターフロント構想』の発想も含め、水郷アピールと住民の憩いの場の創出につながるよう、前向きに検討していきたい。

問 子育て最前線の現状を問う 答 町で3つ目の子育て支援センターをオープンした

問 保育所において、①お昼寝布団の持ち帰り労力を軽減できないか。
②発熱した子どもへの対応は。

子ども課長

①幼児の健康管理、保育室の衛生管理のため、保護者に協力をお願いしている。雨などのときは、柔軟に対応している。
②保育が困難な状況になったら、保護者にお迎えの連絡をしている。お迎えまでは、他の幼児とは別室で看護している。

問 小中学校の教材で、短期間しか使用しない教材について、①何があり、金額はどのくらいか。
②学校備品として貸し出せないか。
次長兼教育課長
①小学校では図工の工作キットや理科の実験キット等があり、

年間500円から2千円程度。中学校では美術や技術の材料等があり、1、2年生は、年間2千円から3千円程度、3年生は5千円程度。
②工作キットなどは、組み立てたものを再度分解して使用することが難しいため、学校備品として扱うことは困難である。

問 子育てと女性の活躍社会の実現という相反する課題をどう考えるか。
町長

子育て支援は、高齢化対策とともに待ったなしで進めていかなければいけない施策のひとつであると考えている。その一環として、町で3つ目の子育て支援センターを作った。何とか町に若い世代を増やしていきたい。

問 保育・教育行政を問う

答 予算を確保し、しっかり対応している



吉田正昭
(新政会)

問 病児保育がはじまるが、日曜日等における休日保育も必要だがどうなっているか。

子ども課長

今の時点で、休日保育の検討はしていない。まずは、病児保育を確実に進めること、保育士の確保、低年齢児の受け入れを最優先としたい。

問 通学時の小学生のランドセルは重そうで、中学生の持物もたくさんに見える。学校に教科書や学用品を置いていくことはどうか。

教育長

「置き勉」については、各学校で年度

当初に検討し、学校に置いていつてよいものを保護者にお知らせしている。国からの通知を受け、児童生徒の負担を軽減するため、さらに検討することを指導している。

問 現在、小学校から英語の授業が始まっているが、授業はどのように進めているか。

教育長

現在は、新学習指導要領への移行期間中であり、3、4年生では、聞くこと、話すことを中心とした授業を15時間。5、6年生では、さらに読むこと、書くことを加えた授業を50時間行っている。また、中学校同様、ALTを各小学校へ派遣し、打ち合わせをしながら担任が中心となつて授業を進めている。

問 まちづくり地権者の思い、どう応える

答 健全な状態で次世代に継承していきたい



佐藤 茂
(新政会)

問 富吉駅南地区のまちづくりについて、①人口が減っている中、地権者の負担が増えるだけで、まちづくりをしても意味がないのでは。

②まちづくりのメリットとビジョンを示せ。

③調整池は、地盤が弱くなり危険である。必要ないのではないか。

次長兼まちづくり推進課長

①将来的に住環境が悪化する可能性があり、早い時期に新市街地整備をする必要はあると考える。また、人口は減っていく見込みだが、土地区画整理事業を行う

ことで、人の定住が図られると考えている。

②メリットは、企業の進出や住宅の増加により、雇用の創出、定住人口増が図られ、地区が活性化すること。ビジョンは、定住人口を目的に主に住居系を設定していきたい。詳細な土地利用については、地権者の合意を図り設定していくこととなる。

③調整池の設置は、治水の万全を期すことを目的としている。また、県の基準でも、新市街地整備の条件となっており、住民の安全な生活環境を維持するための施設として整備することになっている。



板倉浩幸
(日本共産党)

問 障がい者控除対象者認定書の送付を! 答 30年度から送付する

問 介護認定者は障がいの程度によって税の控除を受けられ、納税者自身・配偶者や扶養親族も対象だが、控除額はいくらかの

税務課長

一般の障害者控除は、所得税27万円、住民税26万円。特別障害者控除は、所得税40万円、住民税30万円。同居特別障害者控除は、所得税75万円、住民税53万円となる。

問 制度を知らないかたが多く申請者が少ない現状だが、周知が不十分ではないのか。

介護支援課長
町広報への掲載、要介護認定の結果通知を送付するときに認定書についての案内を同封している。



問 控除の対象者になつてゐる事を知らせるために個別に認定書を送付すべきでは。

介護支援課長

近隣市町村の状況を確認したところ、認定書を送付している自治体が増えていく。これを受けて検討した結果、30年度から、対象者に認定書を送付する方針で事務を進めている。

問 自立支援医療の自己負担を助成せよ!

答 30年10月から、一部のかたは全医療適用化に拡充した

問 精神障がい者医療費助成制度の自立支援医療(精神通院医療)対象者への医療費助成拡大において、

①自立支援医療はどのような制度か。

②受給者証を取得する前と後の自己負担割合は。

③制度の周知はどうか。

④精神手帳を持っていないくても通院の精神疾患に係る自己負担を無料にして、制度の拡充は。

保険医療課長

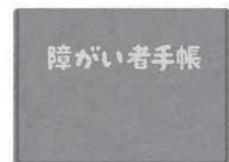
①精神に係る疾病の治療が継続的に必要なかたの通院医療費の自己負担を軽減する制度。

②自己負担割合は1割となるが、所得の低いかたや重度かつ継続的な治療が必要なかたは、負担が過度にならないよう1か月あたりの負担額

に上限が設定されている。

③町ホームページで周知しているが、手続き方法など、制度について詳しく掲載するように見直しをする。また、職員も知識を深め、窓口で適切に案内できるようにしていく。

④30年10月から精神障害者保健福祉手帳1、2級所持者の精神障害者医療費助成を全医療に拡大し、この影響を今後検証していくところである。手帳を所持していないかたへの医療費助成は、今後の検討課題としたい。





伊藤俊一
(無会派)

問 災害発生時の町民の自主避難を問う 答 早めの避難行動を周知、啓発したい

問 避難準備、避難勧告、避難指示が発令されたとき、明確に町民が理解できる提示をせよ！

安心安全課長

気象警報等は、完全に避難できるような早目に発令されている。町は、警報発令時には速やかに自主避難所を開設している。周知方法は、テレビ、町ホームページなどで理解しやすくなるように努力したい。今年度は同報無線を整備し、対応中である。

問 避難所の運営委員会が立ち上がった場合、経験もない集団では迅速な対応が

困難であり、町の指導力が必要である。勉強会を開き、全町内会に周知せよ。

安心安全課長

小学校区を単位とした町内会合同による避難所設営訓練を、学戸小学校区で28年度に、新蟹江小学校区で29、30年度に、蟹江小学校区で30年度に実施した。今後、全小学校区での実施を目指し、訓練を推奨をしていく。

問 議会だより等の配布方法が変更となり、嘱託員との接点が減った。災害時の連帯感が心配だが！

次長兼総務課長

配布業務を委託すること、嘱託員の負担が軽減され、本来業務により深く関わっていただけたと思う。今後も、関係が希薄にならないように努めていきたい。

問 国の農業政策関連事業を有効活用せよ 答 地権者の理解を得ながら進めたい



問 農地中間管理事業の推進には、JAとの連携は必要不可欠だが、町の考えを問う。

次長兼土木農政課長

JAは、農地中間管理事業の相談窓口であり、連携は不可欠であると考えている。今後、JAをはじめ関係機関、県、農業委員会などと連携して事業を進めていきたい。



水野智見
(新風)

問 中間管理事業の先進地である愛西市、名古屋市の情報交換について問う。

次長兼土木農政課長

会議や研修会で情報交換を行っている。また、研修会では、愛知県、岐阜県、三重県の先進事例の報告を受けている。

問 農業、農村多面的機能支払事業を有効活用し、「農地維持支払交付金」を受け、農地のり面の草刈り、用水路の軽微な改修に利用せよ。

次長兼土木農政課長

農業振興地農用地の南地区では、23年度から鍋蓋水（みど）環境保全会として、農地維持や地域資源の質的向上を図る共同活動や農道、水路等の軽微な改修を行い、農業用施設の長寿命化を図る活動をしている。



戸谷裕治
(無会派)

問 人口減少時代の町づくりを問う！

答 開発には、地元の合意形成が必要

問 旧市街地では人口が減ってきている。地域活性化のために、新本町線を開通するべきではないのか。

次長兼まちづくり推進課長

新本町線の名称は、現在、南駅前線に変更している。南駅前線の整備は、取り組んでいく。

問 宝地区は、本町と舟入の間で駅に近い地域であり、開発の促進が旧市街地の活性化にもつながるのではないのか。

次長兼まちづくり推進課長

現在の宝地区は、市街化調整区域であり、分家住宅などが

無秩序に立地しているような状況である。

ただ建物が点在しているだけで、住居系の市街地として市街化に編入することは、国の指針や県の基準

から不可能である。土地区画整理事業のような健全で計画的な市街地整備の確実性が必要となり、そういうものが概ね決定すれば市街化編入に向け手続きが進められることになる。

問 増加する外国籍住民の受け入れ施策は大丈夫か。

政策推進室長

実施した外国人アンケートの結果を有効活用し、外国人住民のニーズや実態を把握するとともに、地域との融和を図る多文化共生施策を立案していきたい。

問 蟹江町の教育政策・教育行政を問う

答 教育の政治的中立性、自主性の尊重はされている



飯田雅広
(無会派)

問 普通教室のエアコン設置は完了したが、特別教室と災害時のことも考え体育館へのエアコン設置を検討しているか。

次長兼教育課長

31年度、特別教室の中で最も需要が高い音楽室への設置を予定している。災害時に避難所となる体育館については、財政部局に相談しながら進めていきたい。現在、町体育館への設置は検討中であり、さらなる調査、研究をしていきたい。

問 英語教育の一貫として英検の検定料を全額補助してはどうか。

教育長

学習指導要領の改訂に伴い、現在は移行期間中であり、小学校3年生から外国語活動が行われている。学校での指導の様子を注視しながら、検定の必要性を考えていきたい。

問 2期制が一部の小中学校で導入されて10年以上経つが本格的に導入するのか。

教育長

31年には、町の方性を示し、新学習指導要領が実施される32年度から、町内で統一して進めていきたい。





中村英子
(無会派)

問 ムダを省き、必要なところに予算配分を！ 答 事業の優位性やバランスを考えていく

問 31年度は元号改正があり、消費税も10%となる。軽減策などの取組はどうなるのか。

次長兼総務課長

消費税の増税に伴い、町が発注する公共事業等をできる限り上半期に集中させるよう、各担当部局に働きかけをしている。きたいと考えている。

問 投票所改善や地域猫対策に予算の予定は。

次長兼総務課長

投票所の改善については、選挙管理委員会でも慎重に検討しているところである。施設の性質上の課題もあるが、投票所の

変更等も含め、地元の見解を聞きながら前向きに検討していきたい。地域猫対策費用は、予算編成の中で、予算全体のバランスを見据えて検討していく。

問 例年、特定健診が実施されているが、対象者の多くがすでに生活習慣病で治療中である。治療のかたに健診を奨励する必要はないのではないか。

次長兼健康推進課長

国から、すでに薬を服用中のかたにも栄養指導や行政ならではのきめ細かな生活習慣の改善支援を行い、治療の中断を防ぐためにも、かかりつけ医と連携したうえで保健指導をすることが望ましいとされている。

議会の傍聴にお出かけください

蟹江町議会は傍聴の手続きが要りません！

蟹江町議会を傍聴するときは、議会開催日に役場3階までお越しください。

議会事務局で議事日程等を受け取っていただき、傍聴席へお進みください。

▼傍聴するときの注意

○議事進行の妨害やほかの人の迷惑になることはしてはいけません。

○写真、ビデオ撮影はできません。

○撮影等は、事前に議長の許可が必要です。

○携帯電話やスマートフォンで、通話や音が出ることをしてはいけません。

○議場には入ることができません。

○その他、議長の指示には従ってください。

▼傍聴ができる内容

【開会】議案が提案され、質疑などが行われます。議案によっては、当日に採決されるものもあります。

【一般質問】議員が、町政全般にわたったの執行機関の考えや将来の方針などについて説明を求めたり、所見をたします。

【代表質問】会派の代表が、

町長の所信表明・施政方針（基本的施策と当該年度の主要施策）に対して質問を行います。3月定例会で行います。

※町長選挙がある年は6月定例会で行います。

【予算審議】次年度の予算案を審議します。

※3月定例会で行います。

【決算審査】前年度の決算認定案を審査します。

※9月定例会で行います。

【閉会】初日に提案された議案や追加された議案について、質疑・討論が行われ、議案の可否を決めます。

※各常任委員会は、付託案件審査のみ傍聴ができます。

常任委員会の審査

12月議会で上程された案件について、委員会で審査した要旨をお届けします。
総務民生常任委員会、防災建設常任委員会、それぞれ議案1件ずつの審査を行いました。

総務民生

表彰条例等の一部改正について

(全員賛成)

問 法改正により、常勤特別職の教育長を表彰の対象とするが、今まではどうしていたのか。

次長兼総務課長

旧法の教育長は一般職の取扱いであり、教育長としては規定になかった。

副町長

これまででは、教育委員会委員として規定の年数在籍することとで表彰されていた。今回の改正により、特別職の取扱いになり、町政功労者として表彰されることが

規定された。

問 教育長が特別職になることで、待遇も変わるのか。

次長兼総務課長

待遇面では、特に何も変わらないと認識している。

教育長の取扱い（蟹江町の場合）

	法改正前	法改正後
任期	4年	3年
任命	教育委員会が任命	町長が議会の同意を得て任命
要件	教育委員会の委員	蟹江町の長の被選挙権を有するもので、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもの。
身分	教育委員会の委員としての身分と教育長としての一般職の身分を併せて有する。	特別職の身分を有する。

防災建設

町道路線認定について

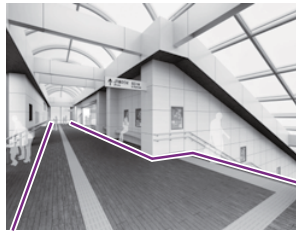
(全員賛成)

問 今回の町道認定は特殊な例だと思いが、これに類似した例はあるか。

産業建設部長

本来、道路の認定は、供用開始前をお願いしている。

今回は、JR蟹江駅自由通路及び橋上駅舎化事業を街路事業として実施するにあたり、都市計画事業着手時に路線認定が必要となつたため、早期にお願ひするものである。
そのため、類似の例はない。



▲橋上駅の自由通路部分が町道になります

30年3月に完成した新しい‘日光川水閘門’を視察

▼視察先

日光川水閘門
(所在地…飛島村大字梅之郷地先)

▼視察日

30年12月6日

▼視察者

防災建設常任委員会委員をはじめ議員全員

▼視察目的

防災建設常任委員会の所管事務調査の一環で、老朽化の進行とともに、近年発生が危惧される南海トラフ地震等の大地震による機能低下の恐れがあることなどから改築工事が進められ、30年3月に完成した新しい日光川水閘門を視察調査しました。

当日は、愛知県海部建設事務所排水機場管理課の職員から完成した水閘門の説明を受け、現地を確認しました。

この水閘門は、日光川流域の住民を水害から守る防災の要として設置され、24時間体制で管理されています。



▲旧水門の撤去工事が進められています
(水門から日光川方面を臨む)



▲水門を視察しました



▲水門からは、海と川の水位が確認できます
(水門から名古屋港方面を臨む)



昨年(2019年)の10月20日、5回目の議会報告会を開催しました。第1部では、各常任委員会の活動報告を行い、第2部では、参加された皆さんと意見交換を行いました。活動報告の内容と質疑応答の一部をお届けします。



常任委員会の活動報告

▼子どもの体力向上の取組

視察先の岐阜県多治見市で学んだ取組と蟹江町の取組を比較・検討し、そこで見つけた課題を町当局に提案していきま

▼提案内容

- ①体力向上のための幼保小中の連携と体力推進委員会の設置
- ②学校と家庭・地域の連携
- ③食育の推進
- ④運動や遊びのアイデア集の作成
- ⑤大学機関との連携
- ⑥プロスポーツの観戦

▼防災建設常任委員会の取組

町は、通学路を中心にパトロールを

意見交換

問 議会基本条例に情報の公開と共有化とあるが、クローバーTVに加入して

答 インターネット中継の導入を議員全員で検討したが、費用対効果を考え、見送った経緯がある。

問 議会として、JR関西線の複線化を要望しているのか。

答 用地の買収は済んでいると聞いていますが、複線化の実現は難しく、今は具体的な協議はされていない。

当日にお答えできなかった質問の答え

問 大地震が発生した場合、蟹江町ではどれくらいの犠牲者が予想されるのか。

答 過去地震最大モデルで、冬、早朝5時、風速5メートルの条件で、約30人の条件上最大モデルの同条件下で700人。【参考】蟹江町地域防災計画

問 日光川と蟹江川に係留してある船は何艘あり、もう使用しない船は把握しているのか。

答 管理する県によると、143艘あり、そのうち使用しないものは7艘ある。

問 靴を脱がずに投票ができる投票所の数は。

答 3箇所。(蟹江西・蟹江上・富吉)

編集後記

新しい年を迎えました。住民皆さまが、今年も健やかに過ごしたきますように祈念しています。

昨年の漢字が「災」。今年は、災い転じて福となる一年にしたいと思います。

平成も終わり、5月からは新元号となり、また、統一地方選挙の年と慌しい一年になりそうです。(戸谷)

傍聴の手続きがなくなりました！ 3月議会の傍聴にお出かけください

※議会ホームページにも掲載されています。

1日(金) 開会	13日(水) 12日の予備
4日(月) 1日の予備	15日(金) 予算審議
7日(木) 常任委員会	18日(月) 15日の予備
12日(火) 代表質問	19日(火) 閉会

※議事の都合により日程は変更になる場合があります。

※赤字の会議は傍聴することができます。

傍聴席は役場3階にあります。

【問合せ】議会事務局 電話(95) 1111(代表)



施政方針演説(1日)・代表質問(12日)の様子をクローバーTVで生放送。当日午後7時から再放送も実施!